

『五霞町立学校のあり方検討会通信』

～ 次世代の学校教育が目指す姿 ～

No.2
令和2年
2月発行

令和元年10月に立ち上がった“五霞町立学校のあり方検討会”！！
第1回の検討会を終えて、埼玉県初の義務教育学校として開校した春日部市立江戸川小中学校の視察と、町内3校の視察を行いました。
検討会では様々な意見を出し合い、五霞町の将来像を描いていけるように進めていく予定です。



“義務教育学校”と“小中一貫型小学校・中学校”って何がちがうの？どんな学校なの？？

どちらも小中一貫教育の形態です。

小中一貫教育にはこんなメリットがあります

- ☆中1の壁・小中ギャップの緩和・解消
- ☆学年の区切りを従来の「6・3制」から、「5・4制」や「4・3・2制」などを設定し9年間を通して一貫したカリキュラムを編成し系統性・連続性を意識した教育
- ☆小学生のうちから中学校の教員免許を持つ教員からの専門的な指導を受けられる 等



小中一貫教育には2つの形態があります



義務教育学校

- ・新たな学校の種類（一つの学校）
⇒一人の校長、1つの教職員組織
修業年限：9年
（前期課程6年＋後期課程3年）



校長



小中一貫型小学校・中学校

- ・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織
※総合調整を担う校長を定める等の要件あり



校長



校長

令和元年 11 月 25 日

春日部市立江戸川小中学校 視察報告

視察員：会員 15 名
事務局 4 名

春日部市立江戸川小中学校は、小学校 2 校、中学校 1 校を統合し、平成 31 年 4 月 1 日に義務教育学校として開校し、特色ある教育活動を行っています。

教育課程 ～ジュニア ミドル ハイで小中一貫教育～



会員の皆様からの感想・・・(抜粋)

○学校からの説明について

- ・ 9 か年の分け方（ジュニア・ミドル・ハイ）が印象的でした。
- ・ これからの五霞を考えた時、東西の統合はさけられないと思いましたが、決して悲観的にだけ考えるのではなく、今日の説明の様に地域、保護者、そして子供達の将来を考えた話し合いを続ける事の大切さを実感しました。
- ・ 早期からの教科担当、9 か年を見通した指導、異学年交流等の説明を受け、既存の学校と違った効果が期待できるのではないかと感じた。
- ・ 統合した各学校の歴史を大切にしていると感じました。

○先生方の雰囲気・様子

- ・ 1～9 年生の先生方が、職員室で共通認識をもてることは、素晴らしいと思います。

○教室等の雰囲気（配置や動線）

- ・ 校舎は 9 学年一緒が良いと感じます。五霞町で実現させるとしたら中学校に小学校の低学年棟を作ることが良いと思います。

○その他・全体として

- ・ 地域と学校の結びつきが強く、ひらかれた（オープンな）学校で、子供たちも安心して、通学・学習ができていたと感じた。
- ・ 1 年～9 年生まで一緒に学び生活する「縦割の良さ」が強みであるという話が印象的でした。
- ・ 5 年後、10 年後のいろいろな可能性を考え抜いて、結果を出すべきと思いました。



令和元年 12月16日

五霞町立学校視察報告

視察員：会員 13名
事務局 4名

各学校を視察して、気になったこと・知りたいことを洗い出し、今後の検討に役立てることを目的に実施しました。

会員の皆様からの感想・・・(抜粋)

○五霞東小学校

- ・建物・教室の動線が悪く感じた。古い感じがした。
- ・みんな元気にあいさつしていてハツラツとしていました。
- ・周囲に色々できて、交通量が増えてきていると思うのですが、通学路は危なくないのか心配です。



○五霞西小学校

- ・木が多くつかわれていてとてもあたたかい様子でした。
- ・体育館が綺麗でした。
- ・社会の変化するスピードが早く、子どもをかかえる保護者にとって、切磋琢磨するためにも児童が多い方が良いのではないか。



○五霞中学校

- ・B&Gと隣接している環境は良いと思った。
- ・木が多く使われていて、校舎の雰囲気は西小学校と統一感があった。
- ・掃除がしっかりしており、綺麗でした。



○その他・全体として

- ・各クラスの児童生徒が少ない。かつては大人数だったが、児童生徒数が少なくなると施設の管理が大変なのではないか。過剰な設備を抱えている。町民人口も減少していて、今後も少子化が進むことも考えると重大な課題となる。空いたスペースをどう活かすか。
- ・競争原理に則った力も鍛えていかないとならない。逞しさをどう育てていくか。今は少人数なので先生の目は行き届く。社会に巣立ったとき、小中学校時代は非常に大切である。少人数で果たして育てられるのか。

| 会員の皆様からの質問と回答(抜粋) | |
|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 質問 | 回答 |
| <p>各校とも小規模校であると思います が、それぞれ小規模校としての特色と困っているところは何か?</p> | <p>〔五霞東小学校回答〕 教師と児童、児童同士（他学年も）の相互理解がしやすいところです。 困っている点としては、人間関係が固定化されやすいところです。</p> <p>〔五霞西小学校回答〕 人数が少ない分一人一人に関わる時間が多いと思います。ただし、6年間クラス替えがないということは、人間関係が固定してしまいがちです。学校では、なるべく多くの場面を設定し、多様な関わり合いがもてるように工夫しています。</p> <p>〔五霞中学校回答〕 1学級当たりの生徒数が26～30名程度で、学習指導、生活指導共にきめ細かな指導がしやすい環境にあります。 体育館、理科室などの特別教室は、小規模校でも充実しており、効果的に活用できています。 各部活動の部員数が少なくなり、活動が成立しにくい状況になりつつあります。 生徒の交友関係の広がりには限られるため、生徒数や学級数が多い環境の方がよいと思われます。 PTA活動など、保護者の協力が必要なことは、小規模校では負担が大きいようです。</p> |
| <p>2クラスを作るための人数の規約を変える事は出来ないのか?</p> | <p>国の基準として1学級当たり40人（小学校1年生は35人）を上限として学級数が決まり、教職員数に影響します。県ごとに基準を定めることは可能とされていますが、市町村単位ではできません。 児童生徒数の減少により、複式学級（2学年で1学級）となることを回避するため、市町村が独自に教員を雇用する事例もありますが、これは希少な事例と言えます。</p> |

<発行者>
五霞町立学校のあり方検討会事務局
(五霞町教育委員会内)
〒306-0307
茨城県猿島郡五霞町大字小福田148番地1
TEL: 0280-84-1462 FAX: 0280-84-1461

検討会の活動内容は、
五霞町公式HPでもご紹介
していきます。
次回の検討会通信は、
令和2年3月に発行予定で
す。

